

わたしの『都市と農村』論

講師:(社)日本都市計画学会 会長 武内和彦氏

日時:12月20日(土)16:00~17:30

場所:広島市まちづくり市民交流プラザ 4階ギャラリーB
広島市中区袋町6番36号

会費:無料

申込:fukuma-a@city.hiroshima.jpまで

今回は、都市計画学会の会長に就任された武内和彦先生をお招きしての都市計画サロンです。武内先生は、緑地分野を専門とされる一方、現代社会が今抱える地球環境問題に象徴されるような複雑な諸問題の解決には社会の合意が不可欠であり、その合意形成の実現には都市計画分野がこれまで手がけてきた手法が欠かせないと主張されています。都市と農村を融合した自立的、循環的、個性的な地域づくりなど幅広いお話を頂く予定です。顔を合わせてお話できる貴重な機会ですので、ぜひ、みなさんご参加ください。

武内和彦先生のご紹介

武内 和彦<タケウチ カズヒコ>東京大学 大学院教授

所属:東京大学 大学院 農学生命科学研究科・農学部 生圏システム学専攻 生圏管理学講座

研究課題:地域生態学を基礎とした緑地環境計画論 東アジアの砂漠化・土地荒廃防止
サステイナビリティ学の創生

職歴:1997年7月- 東京大学大学院農学生命科学研究科教授

2004年4月-2005年9月 東京大学アジア生物資源環境研究センター長(併任)

2005年4月-2008年6月 総長特任補佐/国際連携本部長(併任)

2005年8月- 東京大学サステイナビリティ学連携研究機構(IR3S)副機構長(併任)

2008年7月- 国際連合大学副学長(兼任)

学会活動:日本造園学会(副会長) 日本都市計画学会(会長) 農村計画学会(顧問、元会長) 環境情報科学センター(評議員)

著作:『地球持続学のすすめ』(岩波ジュニア新書, 2007) 『ランドスケープエコロジー』(朝倉書店, 2006) 『環境時代の構想』(東京大学出版会, 2003) 『まちの自然とつきあう』(岩波書店, 1997) 『環境創造の思想』(東京大学出版会, 1994) 『地域の生態学』(朝倉書店, 1991) 『生態都市の発想-まちづくりウオッチング』(総合ユニコム, 1991)